

平成 30 年度 事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人コレクティブ

1. 事業の成果

平成 28 年 4 月 14 日、16 日の熊本地震に対して、平成 30 年度も引き続きライフサポートチームとして益城町の仮設団地への支援を行い、年度末ではほぼ 3 年間の支援活動を終結した。

4 ケ所の小規模多機能型居宅介護事業所および 5 ケ所の縁がわ（介護予防拠点）を運営し、「自宅にこだわり、地域の中で暮らし続けられること」ができるような取り組みを更に推進してきた。

山鹿市での定期巡回・随時対応訪問介護では地域や医療機関等の理解が無い中で、利用者確保が困難な状況が続いているために、新規に居宅介護支援事業所（ライフサポート居宅介護支援事業所）を開設しテコ入れを行った。

また、熊本市東区での定期巡回・随時対応訪問介護の立ち上げ準備を行い、3 月 31 日に新規開設した。

事業の状況（法人の定款の事業に対応して）

①訪問介護事業

ア 介護保険法による訪問介護事業

イ その他の訪問介護事業

山鹿市で定期巡回・随時対応訪問介護として事業を開始しているが、利用者の開拓はすすんでいない。そこで居宅介護支援事業所を自法人で持ち、克服を目指している。

しかし、成果はまだ少ない。

②通所介護事業

ア 介護保険法による通所介護事業

イ その他の通所介護事業

小国町の介護予防拠点「縁がわ小国」で介護保険を利用しない形での通所介護を毎回 3～6 名の利用で週 2 回行っている。また、山鹿市での介護予防事業を受託し、週 1 回程度開催している。

③小規模多機能型居宅介護事業

4 ケ所の小規模多機能型居宅介護の質の確保を図りながら、利用者のニーズに応え、確実に事業をすすめた。4 ケ所の利用者総数 88 名(3 月末現在)となっている。

④訪問看護事業

連携する法人で訪問看護事業開始のため当面事業展開を保留することになっている。

⑤介護保険法による居宅介護支援事業

③の中で実施のために、居宅介護支援事業は休止していたが、定期巡回・随時対応訪問介護のテコ入れのために、山鹿市でライフサポート居宅介護支援事業所を 7 月に新規開設した。まだ 10 名程度の利用であるが、地域の要援助者の支援及び新規の利用者開拓に成果を出すものと考えている。

⑥障害福祉サービス事業

障害福祉サービス事業は利用希望者がいなかったために休止となっている。

⑦低利用料での住まいの運営事業

小規模多機能型居宅介護に併設した地域の中での高齢者・障がい者が安心して暮らせる共生型の住まい（熊本市東区戸島西）の運営をおこなっていたが、被災のために縮小し、知的障害を持つスタッフの住まいとして運営している。

⑧福祉相談事業

地域の各種の相談に対応し、また小規模多機能型居宅介護関係の相談にも対応した。

⑨安心して住める地域づくり事業

各拠点での運営推進会議を核に、地域づくりをすすめた。大牟田市の「地域の縁がわひらばる」では住民が運営する拠点づくりを継続して行った。熊本市東区戸島西の「いつでんきなっせ」、阿蘇郡小国町の「縁がわ小国」、山鹿市熊入町の「介護予防拠点いつでんくるばい」では、地域の安心拠点づくりを行った。また「きなっせ」でも借家にて認知症カフェ(さしよりカフェ)を実施した。

⑩認知症高齢者等の人権擁護にかかる事業

認知症高齢者の暮らしと人権を守る活動をすすめた。虐待への緊急避難対応等も行った。